

# 緑区町内自治会だより



発行 緑区町内自治会連絡協議会  
代表者 大槻 勝三  
発行日 平成30年3月1日

〒266-8733 千葉市緑区おゆみ野3-15-3  
事務局 千葉市緑区役所地域振興課内  
Tel 043-292-8105

【第8号】

## 第38回九都縣市合同防災訓練 千葉市会場

平成29年9月3日(日)、九都縣市合同防災訓練が「昭和の森」で開催されました。九都縣市合同防災訓練は、毎年この時期に開催されているものですが、今年度は緑区が「千葉市会場」担当となり、「昭和の森」を会場として、多くの関係機関、住民が参加して大規模に行われました。

わたしたち住民側である各町内自治会・防災会の参加者は、初期消火訓練や避難誘導訓練を実施するとともに、例年の訓練では見学出来ない消防局による空中消火訓練や自衛隊が行う倒壊建物、列車事故等からの救出訓練を目の当たりに見ることもできました。

今年度から、新たな試みとして昨今の某国によるミサイル発射に対応した、「弾道ミサイルを想定した避難訓練」を行い、「自然災害とは異なる緊急事態への対応」という実地訓練で緊張感を新たにするとともに、自然災害同様に地域住民がまとまり、落ち着いて避難・対応することの重要性を改めて認識しました。

千葉市会場ということで非常に充実した展示・体験コーナーでは、地震体験や赤十字救急法の体験などを体験することができ、住民参加者の防災スキルの向上に役立ったことと実感しています。

また、新しくドローンを活用した救出・救護訓練もあり、災害対応体制の進化・ICT(情報通信技術)との連動に感服した感もあります。

例年の規模を超える様々な訓練に圧倒されつつ、自衛隊・消防を始めとする行政側の技術・対応力が日々向上していることも実感でき、頼もしく感じました。しかしながら訓練を通して最も強く感じたことは「いざとなった時の人と人との協力」が何よりも大切であるとの思いです。住民側は高齢化が進むとともに住民同士の結びつきが段々と希薄になりがちなのは否めません。九都縣市合同防災訓練をはじめとして、地域ごとの防災訓練や、避難所設営訓練を実施することにより、普段から住民同士の結びつき、連携力を育むことが究極の防災・減災対策であると感じるとともに、災害時には「地域住民の安全を守る」使命を帯びる地区連協会長として身の引き締まる思いを感じた一日となりました。

(記事 土気地区連協会長 野崎 芳治)



【起震車体験の様子】



【列車事故を想定した救助訓練】



【避難誘導訓練】



【排水栓を利用した消火訓練】

## 区連協会長挨拶・緑区長挨拶



ご挨拶

千葉市緑区町内自治会連絡協議会  
会長 大槻 勝三

町内自治会の皆様には、日頃より緑区町内自治会連絡協議会運営に対するご理解とご協力をいただき心より深く感謝申し上げます。

緑区連協におきましては、「安心・安全のまちづくり」をより一層向上させるため、4月に「緑区防災・ふくしガイド&マップ」を町内自治会加入全世帯にお配りするとともに防災訓練・避難所開設訓練などに区役所と協働して積極的に取り組んでまいりました。また、バス視察研修では画期的な町内自治会活動で名高い立川市大山自治会を訪れ、活動の工夫・取り組みなどを学び、今後の町内自治会活動に非常に役立つものであったと思います。

同じ地域に住む人々が集う「町内自治会」は社会が変化しても地域活動の礎で有り続けるものでございます。今後とも地域の皆様のご協力をいただきながら、地域の絆をより一層深めて、暮らしやすく、安心・安全な「緑区」を育んでいきましょう。



ご挨拶

緑区長 山崎 信彦

町内自治会の皆様には、日頃より市政並びに区政推進に多大なご理解とご協力を賜っておりますこと、この場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

区長として地域行事に接する機会の折々に実感するのが、会長や役員の皆様方が、地域の礎として、活動の土台を支えている、まさに八面六臂のご活躍のご様子でございます。

盆踊りやお祭り、運動会等の地域行事をはじめ、見守りや支え合い、安心・安全なまちづくりのための防犯・防災活動など、様々な活動にご尽力いただいておりますことに感動を覚え、改めて感謝と敬意を申し上げます。

さらに、11月の「ふるさとまつり」では、皆様方の献身的なご協力で、計画、準備、広報、当日の運営を行い、今年度も盛大に開催することが出来ました。

行政と住民との協働無くしてまちづくりは出来ません。町内自治会の皆様には今後ともご指導・ご意見を頂き、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 平成29年度区連協年間行事及び予算

### 平成29年度事業計画

#### 緑区連協の活動目標

安心・安全のまちづくり《防犯・防災・福祉・環境》

年月	内容	備考
29年4月	監事会 理事会	平成28年度会計監査 予算・決算・総会資料の確認等 要望事項の依頼
5月	通常総会	通常総会関係事項
7月	理事会	要望事項の内容精査 バス研修会日程調整
9月	九都県市合同防災訓練 理事会	参加・協力 要望事項の回答 バス研修会内容精査等
11月	第25回ふるさとまつり	参加・協力
12月	理事会	バス研修会内容確認等
30年1月	研修会	バス研修会
3月	理事会 広報誌発行	決算・総会日程等

### 平成29年度収入支出予算書

〈1 収入〉

緑区町内自治会連絡協議会(単位:円)

項目	収入科目	金額	主な内訳
補助金	市補助金	895,000	区連協補助金
負担金	負担金	147,590	地区連協負担金 見込み 29,518世帯×5円=147,590円 ※29,387+131 (たがだの森ニュータウン)
雑収入	雑収入	10	利息(10)
前年度繰越金	繰越金	306,514	
計		1,349,114	

〈2 支出〉

(単位:円)

項目	支出科目	補助対象経費	補助対象外経費	主な内訳
交付金	地区連協交付金	341,540	0	14地区連協(41,320)、23地区連協(166,830)、44地区連協(133,390)手数料込み
	手数料	0	0	
事務費	事務費	70,000	0	コピー用紙等
会議費	会議費	153,400	0	
	消耗品費	100,400	0	参加者記念品、表彰者記念品
	通信運搬費	30,000	0	開催通知、欠席者資料送付代
	施設・機材等の使用料及び賃借料	7,000	0	譲取コミュニティセンター使用料
	役員会議費	16,000	0	西茶代
事業費	事業費	322,731	0	
	通信運搬費	158,231	0	切手購入、郵送代
	施設・機材等の使用料及び賃借料	4,000	0	譲取コミュニティセンター使用料
	報償費	0	0	講演料
	委託料	160,000	0	バス研修会、広報誌制作
	手数料	500	0	振込手数料
旅費	旅費	80,000	0	
	費用弁償	80,000	0	区連協役員交通費
備品購入費	備品購入費	0	0	
予備費	予備費	381,443	0	
計				
合計			1,349,114	



## 市・区連協要望事項

町内自治会や地域の問題について、各地区町内自治会連絡協議会から提出された要望は、緑区町内自治会連絡協議会で協議、検討し、「市連協要望」と「緑区連協要望」に分類したのち、千葉県各担当部局に提出しました。

平成29年度の各要望事項に対する担当部局の回答は、「平成30年度緑区町内自治会連絡協議会通常総会」で、各町内自治会長に報告される予定です。

### <平成29年度 市連協要望一覧>

第12地区 外房有料道路第二区間の無料化の推進について

市連協要望…国や県に要望する事項。

### <平成29年度 緑区連協要望一覧>

緑区連協要望…区として特に重要な事項。

No.	地区	要望事項
1	第12地区	万花台公園の時計の設置、万花台公園前の道路における一時停止の標示とスクールゾーンの道路標示と道路紙の設置について
2	第12地区	車両通行禁止時間帯の取り締まり強化とミラー設置について
3	第12地区	誉田駅南口前道路の歩道整備と凸凹解消について
4	第14地区	用水路の蓋設置について
5	第14地区	雨水排水対策の要望について
6	第14地区	区画整理地内の早急な公園建設について
7	第14地区	小金沢町墓参道への「手すり設置」・「階段舗装」の要望について
8	第14地区	小金沢町1番地前道路への雨水処理設備の設置要望について
9	第14地区	災害時の応急農業用井戸水の配管改善について

No.	地区	要望事項
10	第23地区	千葉県防災行政無線の改善について
11	第23地区	紅葉ヶ丘団地進入（入口）道路の拡幅及び入口の隅切りについて
12	第23地区	防犯街灯傍の植栽剪定作業の依頼について
13	第23地区	越智はなみずぎ台入口交差点への右折信号の設置について
14	第23地区	あすみが丘東1・2丁目T字路交差点への信号機設置について
15	第44地区	鎌取コミュニティセンターの1、2階をつなぐスロープの新設について
16	第44地区	鎌取コミュニティセンター・緑区役所の駐車場の立体化について
17	第44地区	緑郵便局の駐車場の立体化について
18	第44地区	道路の冠水対策について

## 平成29年度バス研修会

少子高齢化や核家族化などが進む中、加入世帯数の減少や活動の停滞に頭を悩ませている自治会が少なくない昨今、今回の研修会は約1,600世帯の加入率100パーセントを誇る東京都立川市の大山自治会を作り上げた佐藤良子前会長を訪ね、お話を伺いました。

「住民に必要とされる自治会づくり」は「ゆりかごから墓場まで」を標榜し、無料の一時保育や育児相談などの子育て支援から、高齢者の孤独死解消を目指した見守りネットワークや格安の自治会葬儀までその活動は多岐にわたっています。



【お話真剣に耳を傾ける一行】



【大山団地のつくりなども学びました】

「自分たちの出来ることは、自分たちでやる」という考えのもと、新しい工夫やアイデアで目の前の課題を解決していく姿勢には見習うべき事がたくさんありました。

運動会・夏祭り・防災ウォークラリー大会の三大イベントの実務を担うのは大勢のボランティアで、役員の負担を少なくしたり、役員が負担に思う人にはサポーターをつけたりして誰にでも出来る様にしているので、役員選考では苦労しないということでした。また、すべての活動には全世帯の活動保険が掛けられており、コミュニティビジネスとして高齢者事業団が駐車場や公園の委託管理で得た収入を分配する活動もしています。

大山自治会と私たちでは状況や条件が異なることは多いですが、（記事 矢野 正康）

## 紹介コーナー

今年度、緑区連協に加盟した町内自治会をご紹介します。（平成29年5月1日設立）

【誉田地区】グリーンステージ誉田町内会（誉田町）

★近隣町内自治会の皆さまには、暖かいサポートを宜しくお願いいたします★

## 地域活動紹介【誉田地区】

### 「誉田地区子ども会育成連絡会ー地域の力で子どもを育むー」

誉田地区子ども会育成連絡会は、昭和42年6月に創設以来、町内自治会の皆様をはじめ地域の方々のご協力により、創立50周年を迎えることが出来ました。創立時には、誉田小学校PTA役員さん達のご尽力により、誉田地区全域に単位子ども会が誕生しており、以後、多いときで昭和53年に28団体（1389名）の記録もあります。

しかしながら近年は誉田地区も「少子化」の波には抗えず、会員数の減少による単位子ども会活動の停止が目立つようになりました。平成19年度からは、スポーツ大会の会場を校庭から体育館内へと変更することになりましたが、連絡会役員一同は時の流れを嘆くことはせず、今の子ども達のためになるような様々な工夫と新しい試みをもって日々活動しております。屋内会場の利点を最大限生かす遊び・メニューを充実させるなど、子ども達の楽しみのためにはなりふり構わずに取り組んでおります。日々子ども達は、遊びを通じて色々なことに興味を持ち、色々な体験をして成長しています。

誉田地区子ども会としては、単位グループごとの「遊び場」を優先した活動を支援するなど、子ども達の豊かな創造力や感受性を養っていくためにこれからも努力と工夫を続けていきたいと思っております。

子ども達が日々一つでも多くの体験経験の場にめぐり合えますように地域の皆様方の更なるご支援・ご指導をお願い申し上げます。

（記事 関本 照男）



【式典で挨拶をする大塚会長】



【努力と工夫が詰まった子ども会新聞】

## 地域活動紹介【おゆみ野地区】

### 「サードプレイス体験!おゆみの道・緑とせせらぎの会」

「せせらぎの会」は、おゆみの道の清掃委託費を原資に周辺の公園も含めたサードプレイス作りを目指し活動しています。

サードプレイスとは聞き慣れない言葉かもしれませんが、初めてオープンテラスで始めたコーヒーショップは、サードプレイスがコンセプトでした。ファーストプレイスは家庭、セカンドプレイスは職場や学校、そしてサードプレイスとは創造的交流が生まれる居心地の良い場所です。街が成熟すると、いろいろな場所が出来ます。今東京周辺では、自治体による複合施設のサードプレイス作りが盛んです。一人でも、家庭でも、仲間とでもリフレッシュ出来る場所です。そう言う意味では「おゆみの道」は非常に贅沢な場所と云えます。

歩くだけでも良いのですが、「おゆみの道・緑とせせらぎの会」には汗を流したり、知的好奇心を満足させたり五感を活性化できるプログラムが数多くあります。脳の健康を保つには、外へ出ていろいろな人と会話をしたり、計画をたてて物事を進めることが必要です。

2010年の第1回ウォーキングでは、参加者45名中、泉谷公園から大百池まで歩いたことのある人は3名でした。公園予算の削減で荒れ始めた環境も最近では綺麗になり、社会の健康志向とともに利用者が急速に増えました。

しかし、好奇心や達成感を満たすリフレッシュの場として、活用する方が少ないのが現状です。ぜひお子さんやお孫さんとでも、サードプレイスを体験してみてください。

（記事 せせらぎの会 代表 小倉 牧夫）



【美化活動を終えて 笑顔の1枚】

編集後記  
12月3日に緑区役所5階講堂で、「みんなで考えよう!避難所のこと」の講演会と意見交換会に参加しました。参加者は40名。講師は浅野幸子先生でした。長時間の講演ですが、被災地での豊富な経験に基づいた内容でとても充実しておりあつという間でした。特に委員さんは、「根性!と言って無理をしないことが大切」と教えて頂いたことはとても参考になりました。  
(広報委員長 小山 義春)



### 今年度の広報委員

委員長	小山 義春
12地区委員	関本 照男
14地区委員	渡利 三夫
23地区委員	矢野 正康
44地区委員	岡村 奈保